

■ 指定管理者制度導入施設 中間評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	相模原市立市民健康文化センター
指定管理者名	市民健康文化センター運営共同企業体(公益財団法人相模原市まち・みどり公社、株式会社明治スポーツプラザ)
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立市民健康文化センター条例
施設の設置目的	市民の健康保持及び増進並びに文化及び福祉の向上に寄与するため (相模原市立市民健康文化センター条例第2条)
施設概要	・所在地 南区麻溝台1872-1・敷地面積 7,987.76㎡・建物面積 4,080.63㎡・延床面積 6191.22㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨(地下1階 地上2階) 1階 プール、浴室、多目的広場、多目的会議室1、カフェ 2階 多目的会議室2、茶室、講習室1・2・3、工作室(陶芸窯)、展示コーナー
施設所管課	市民局 市民協働推進課

2 管理実績

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	292,998	83,399	147,733		
利用料金合計(円)	47,164,171	14,533,689	28,588,160		

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 13
	A	A	B				

指標1

指標名(単位)	プールの利用者数(人)
指標式と指標の説明	市民健康文化センターでプールは中心的な施設であり、施設の設置目的である、市民の健康の保持及び増進を達成させるため、成果指標とする。 ※令和2年度及び令和3年度の目標値は施設休止期間等を考慮している。

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	131,000	22,944 (132,000)	68,757 (133,000)		
実績値(人)	125,792	31,287	60,451		
達成度(%)	96.0%	136.4%	87.9%	#DIV/0!	#DIV/0!

指標 2					
指標名 (単位)	自主事業の参加人数(人)				
指標式と指標の説明	市民健康文化センター全体の諸施設を活用し、設置目的を達成させるため、自主事業参加人数を成果指標とする。				
項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (人)	26,500	4,417 (26,500)	13,515 (26,500)		
実績値 (人)	28,252	3,583	14,368		
達成度 (%)	106.6%	81.1%	106.3%	#DIV/0!	#DIV/0!

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 15
	A	A	A				

自主事業		
主な事業名	内容等	効果等
健康増進のための空間づくりの事業	プール教室や体操教室等の事業	R1年度:24事業 R2年度:15事業 R3:18事業
文化の醸成・創造活動へのサポートの事業	寄席や美容教室、美術大学生のワークショップや工作・習字教室等の事業	R1年度:13事業 R2年度:0事業 R3:4事業
地域の魅力・ふれあいづくりへの貢献の事業	着衣水泳指導やふれあい広場を活用した作品展示、近隣施設と連携したスタンプラリー等の事業	R1年度:18事業 R2年度:9事業 R3:5事業

5 利用者の満足度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	C	B				10

利用者満足度調査

調査手法	利用者へのアンケート調査を実施
目標値の基準	利用者満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0		
実績値（%）	90.8	69.9	87.9		
達成度（%）	100.9%	77.7%	97.7%	#DIV/0!	#DIV/0!

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
ご意見箱の設置	通常の満足度調査とは別に、通年で3か所にご意見箱を設置。 ①全施設的なご意見（総合カウンターに設置）②授乳室へのご意見③幼児コーナーへのご意見
健文ロードショーでのアンケート	健文ロードショーの上映作品の選定や今後の運営の参考とするため、アンケートを実施。次年度以降の作品選定の参考としている。
教室アンケートの実施	参加教室に関するアンケートを実施。（文化教室のみ）教室終了時に回収。

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
プール更衣室をこまめに掃除してほしい	1時間ごとの清掃はしているが、利用者も使用出来るモップを設置し、いつでも清掃出来る環境を整えた。
子ども用便座の設置をしてほしい	館内の男女トイレに子ども用便座を設置した。
コロナウイルス感染症対策について	国・県・市の方針に基づき、臨機応変に感性症対策の見直しと実施を行った。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点 (20点満点)	評価点 15
	B	S	A				

施設の収支概要

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入 (a)	207,279	206,933	208,179		
指定管理料	156,278	153,475	147,779		
利用料金収入	47,164	14,533	28,588		
その他の収入	3,837	38,925	31,812		
支出 (b)	222,525	191,217	212,653		
人件費	101,032	89,177	96,995		
本社管理経費	8,850	9,102	9,279		
その他の支出	112,643	92,938	106,379		
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	-15,246	15,716	-4,474		
自主事業収入 (d)	19,585	3,341	12,574		
自主事業支出 (e)	5,300	3,430	3,023		
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	14,285	-89	9,551		
全体収支 【(c)+(f)】	-961	15,627	5,077		
備考					

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
加点の有無	無	無	有		
主な加点内容			施設の老朽化が進む中、休所期間を活用し、プール地下ピットの躯体修繕等を実施する等、適切な維持管理に努めたことから加点するもの。		

8 提案事項のうち未実施のこと

主な事項	内容等	理由・今後の実施見込等
R2年度文化教室	予定していた文化教室は、コロナウイルス感染症のため中止した。	R3年度で振り替え実施。またはR4年度に内容を一部変更して実施予定。
R2以降の無料水泳教室	予定していた無料水泳教室は、コロナウイルス感染症のため中止した。	R4年度以降、一部有料教室として再開予定。
R2以降の健文祭	予定していた健文祭は、コロナウイルス感染症のため中止した。	R4年度以降、再開予定。
R2以降の健文相談	予定していた健文相談は、コロナウイルス感染症のため中止した。	R5年度以降、再開予定。

9 提案事項にないが実施したこと

主な事項	内容等	効果等
リラクゼーションコーナーの創出	スカイウェル有料化に伴い、ふれあい広場にスカイウェルとマッサージ機を移動	スカイウェルは有料化にも関わらず大きな落ち込みもなく順調に推移、マッサージ機は認知度が高まり利用率が向上した。
カラオケ設備(自主事業)の廃止	コロナウイルス感染症対策が困難なこと、特定の団体しか利用していないことから廃止	利用者も少ないことから、多目的会議室2の予約状況に影響はなし。
コロナウイルス感染症対策	館内にアルコール消毒・検温器の設置、職員による館内消毒、プール・浴室・貸室の定員制限	施設利用者のコロナウイルス陽性者は発生なし。
自転車マナーアップ啓発活動	近隣施設である総合体育館、麻溝公園、県立相模原公園、女子美術大学、ギオンスタジアム、ふれあい動物広場と合同で実施。駐輪場の付近に自転車マナーアップ啓発が表示されたのぼり旗を立てる。	春及び秋に実施される全国交通安全運動実施期間に実施し、下九沢地域のマナーアップに貢献した。
健文ギャラリーの創出	カフェスペースの壁面に女子美術大学学生の版画作品を展示するギャラリーを創出。	利用者に美術作品を見る機会と場所を創出し、施設の魅力向上の一助となった。
キッズダンス教室	小学生向けにダンス教室を実施。	新しいジャンルの教室を実施することで、新たな利用者の獲得に繋がった。
健康セミナー・簡単な体操	高齢者向けに健康セミナーといす体操を実施。	新しいジャンルの教室を実施することで、新たな利用者の獲得に繋がった。
ポッチャ体験会	簡易的なルールにてポッチャ体験会を実施。パラリンピックの盛り上げや障がい者スポーツの普及に寄与。	普段接することが少ないスポーツを紹介することで参加者の新たな発見のきっかけ作りを創出し、施設の魅力向上の一助となった。
近隣企業への利用促進事業	パンフレットとプール・浴室の無料優待券の配布。	近隣企業からの認知度は高まったが、施設の利用促進には繋がらなかった。
カプセル自販機設置	1階多目的会議室1の前にカプセル自販機を設置。	カプセル自販機を設置することで施設の魅力アップとサービス向上に繋がった。

10 指定管理者の自己評価

コロナウイルス感染症の影響で予定どおりに営業できない中、成果指標であるR2年度プールの利用者数及びR3年度自主事業の参加人数を達成出来たことに安心した。また、アフターコロナを見据えた事業の見直し(リラクゼーションコーナーの創出、カラオケ設備の廃止)を進めることで、新たな利用者を獲得する事業の実施に努める。

特に自主事業は定員を従来の半数程度まで減らして実施せざるを得ないため、段階的な定員の増加や新たな枠組みの自主事業の検討を行うなどアフターコロナを見据えた持続可能な事業計画の策定に努める。

利用者満足度調査については、コロナ禍初年度に利用者から感染症対策などに厳しい評価をいただいたが、令和3年度は館内表示方法を見直すことで、従来の水準に近い評価をいただくことができた。

今後についても、変化する社会情勢の中、利用者の意見に耳を傾けるとともに、新たな施設の魅力発信による施設利用者数の増加に努め、利用者には選ばれる施設として適切な管理運営を行っていきたい。

11 所管課意見

・施設の情報発信については、「LINE@」等を活用するなどの工夫が見られ、引き続き施設の魅力の発信に努めて欲しい。
・施設休所期間においては、施設内の設備を細やかに点検し、老朽化の激しい箇所について、計画的な修繕を実施できており、休所期間を活用した施設の維持管理を評価する。

・コロナ禍においては、施設における感染症対策を十分に講じ、利用者が安心して利用できるよう努めていた点を評価する。

・今後は、夜間時間帯や若年層の利用促進に向け、満足度調査結果等も活用した新たな事業展開に期待する。

12 選考委員会意見

・コロナ禍により緊急事態宣言の発出による休館や感染予防対策の徹底など、経営環境や生活様式が大きく変化する中、創意工夫を図り、利用者数と利用者満足度を回復させ、大過なく事業の運営ができていたことを評価する。

・一方で、利用者満足度調査の結果に基づく改善点や次年度事業への反映については、充分とは言えない状況にある。施設ホームページにおける情報提供について、「お知らせ」だけでは時間の経過とともに情報を探すことが難しいことから、自主事業の内容や利用者(参加者)の声を紹介するページの作成を検討してほしい。

・体操教室等の体力づくりを目的とした事業以外に、健康セミナー等の健康意識の普及啓発にかかる新規事業の実施など、提案事項にない取り組みにも工夫の跡がうかがえる。今後も多様化する市民の健康ニーズを捉え、さらなる施設の活用やコンテンツ開発に挑戦してほしい。

・この3年間で安定した経営状況を維持していた点を評価する。引き続き、積極的な利益還元を期待する。

・コロナ禍で、それまで施設で実施されていたコンサートや作品展示などの文化を醸成する事業が減少している。今後は、ふれあい広場や茶室など、施設の特性を生かした文化事業の実施や文化活動団体の利用を促進するなど、施設の設置目的の一つである文化の向上に寄与してほしい。

総合評価 (自動判定)

A

(70/100)

